柏市広報

編集発行人　千葉県柏市　柏市役所広報係　電柏六番四十三番

公明選挙で明るい柏

市民税　四期分の納期は　1月31日まで

謹賀迎春

輝かしい市制施行第一年の新春を迎え謹んで市民各位の御多幸を祈念し新市建設の決意を新にすることは私の最も欣快に存する処であります。

顧れば昨昭和二十九年は柏市の歴史の第一歩を印した年でありました。即ち九月一日市民各位の理解と協力とかつ地方自治伸展の熱烈なる希望は克く山積する難関を克服突破しえて市制の施行を見、更に十二月多年の懸案たりし文化都市建設必須の要件たる水道敷設を事業化するに至るを初め建設の諸事業漸くその緒につかんとし国政が右顧と混乱の中に終始せる一方合併後尚もすれば各地の前例に倣するも対立混乱せんとする互に理解し協和を図りえて親和市政の実現の基礎の固められつつあるは真に慶賀に堪えざる所であります。

又二ヶ年に亘る関係者の努力結実し、廃藩、文化の発展に寄与し、多数農家各位の困難なる諸事情を克服し、年内供米完納に成功する等その努力と責任自覚とは真に感謝に堪えぬ所であります。

そこで真に感謝の意を表する次第であります。

而して昭和三十年こそは当市の建設第一年の年であります。昨年度収めたる成果を更に拡充し市民の叡智と努力を傾けつくし新市建設の基盤を確立しなければならないのであります。不肖私昨秋迄しきを以て初代市長の重責を辞すに至りその光栄に感激し死力を尽してその職責の完遂に邁進せんと決意を新にし年頭所懐の一端を述べて御協力を仰がんとするものであります。

新市建設は市民の融和から

柏市長　鈴木悦三

抑々新市の建設と市民の福祉の増進は住民各位の地方自治に対する深き理解と責任自覚を基調として推進せられねばならぬことは最早贅言を要しません。民主政治の進歩に伴い進次之の理解が加められつつあることを認むるに吝ではありませんが、然し乍ら昨年新市発足後の実績に見るに必ずしも市民の自覚と協に於て自治に対する理解と責任自覚が完璧になり得たか反省するの要ありと痛感するのであります。

即ち昨年十一月執行の知事選挙に於ける投票率は二割二分の低率にして全県下平均の二割九分に比して遥かに低く、住民の自治に対する理解の低調さを遺憾乍ら物語るものであり、新市建設の意欲に燃える住民は進んで建設の責任分担に於て納税の義務を完遂せねばなりませんが、納税率亦必ずしも良好ならざるは即ち住民の責任自覚に於て強く反省せねばならぬ処と存ずるのであります。

然り而してかくの如き結果を招来したる最大の責任は即ち関係者の企画適正を欠き努力の足らざる事を反省し大いに自粛自戒せねばならぬ強き責任を感ずる次第でありますが反面市民各位が地方自治伸張のためには与えられたる住民の自治行政に参画する権能を自己の知識と判断力と責任に於て解決すべきものたることを市民たる名に於て反省し一層の協力を相やまざるものであります。

今や本市は憲法第九条の特例と衛星都市建設の天の恵

し更に市民の正しい地方自治に対する理解と協力を得て親和市政の実現を見たならば、必ずや将来の輝かしい大発展に向して待つ可きものがあると確信するものであります。

然る後温情たりし「柏」の姿も

幸に理解ある住民各位の協力を以て懇願して年頭の挨拶と致します。

柏市消防団結団式の状況

昨年末12月22日柏中校庭において

光栄と希望に満ちた昭和三十年の春を迎え、謹んで皆様方の御多幸を御祈り申上げます。

顧みますに昭和二十九年は国家的改革としての町村合併促進実現の年であり、地方自治体にとりまして全く一大転換を画した年でありました。この歴史的大革新の只中に幾多困難なる情勢の下、昨年九月一日目出度く市制が施行され、歩一歩建設事業が具現されつつありますことは誠に市民皆様方と共に同慶に堪えず、之ひとえに皆様方の御理解ある協力と関係者各位の御指導御援助とに至るものと、衷心より感謝致して居る次第でございます。

今や柏市は広ぼう実に七十平方キロ、人口四万数十を数え、市としての立派な規模を有するに至り更に首都衛星都市として着々諸施策が推進されつつあります。

特に理想的住宅都市建設の必要件たる上水道敷設は、我々市民多年念願する処でありましたが、市制施行後鋭意として実現は次々本格化し、出ろう着工をみた次第であります。

又本市発展の特殊性に一段の色彩を加うべき宅地造成の計画も、着々進捗されつつあり、以上完成の暁に飛躍的人口の増大をみる事火を見るより明らかであります。

加うるに新国道六号線、並びに県道舗装工事は着々と進捗、都市景観の一環たる南柏地区々画整理は完成され、地区幹線道路も逐次整備の段階にあり、第一中学校新設と、田中小学校増設により、教育施設は一層充実され、社会福祉の面からは保育園は逐次増設されつつあり、商工会は一体化され宿望の電話増設は完成、その降塵は言語に絶するものあるを確信致しております。

かくの如き凡ゆる事業の進捗完成は、一重に皆様方の御協力によるものと深く感謝致す次第でございます。

新年の御挨拶

柏市議會議長　小川喜助

猶当市議会は合併促進決の特例によりまして、現在七十五名であり●市制施行以来小金分離問題、富勢編入問題等加わり、議会開催回数七回の多きを数え各常任委員会等五十数回、更に特別委員会を加え実に七十回に及んでおります。この間議員諸氏が全く融和の中に新市建設へ熱心に審議下され感服の極であります。

新しく迎えた本年からこそ、新市建設への第一歩は踏み出され、逐次自治行政は合理化され住民の福祉は増大され、教育施設の充実、都市計画、産業の振興は図られ一歩々々生活と向上されて行くものと確信致しております。

茲に光栄と希望に満ち溢れた新春を迎えるに当り、微力乍らこれら実現の為に最善の努力を惜しまぬ覚悟でございます。何卒格段の御協力と御指導を賜りますよう御願いを申上げまして新春の御挨拶と致します。

新年出初式

団員一、二二二名参加の予定

恒例の消防出初式は、来る二十九日午前十時より柏中学校々庭に於て行われる。

当日は来賓多数参列し、伝統を誇る旧四ヵ町村の団員が決意を新にして、柏市消防精神に燃えて各種の妙技を揮うことになり、早くも近隣市町村より嘱望されて居る。

成人式を柏中講堂で挙行

今年も一月十五日、成人の日が近づいて参りました。

成人の日は、満二十才になった方々の成長をお祝いすると共に、成人になった事に強い自覚を持って頂き、今後の発展を期する日であります。

そこで、市教育委員会では、市内の該当者の方々八六〇名を柏中学校にお招きして、左記の通り成人式を挙行致します。今回は、市制施行後最初の催しでありますから、式や映画会の外に、市内各地区の方々が色々と話し合うような機会も作りたいと考えます。また出席された方には、記念品を差上げる予定です。

建築五カ年計画は完納より

合併後の地ならしも済んで愈々新市の建設期となりました先ず完納して新市の育成強化に努めましょう

どうぞ該当者の方々には、全員もれなく御参集下さるようお願い致します。

記

一、日時　一月十五日（土）午後一時

二、場所　柏中学校講堂

三、参加資格者　昭和九年一月十六日から十年一月十五日までの間に生まれた方

四、予定行事

①成人式

②座談会

希望により農業、商工業、一般家庭の四グループに分れる。

③映画会

④記念品贈呈

待望の上水道起工式

小作料改正の土地調査

現行の小作料は、農地法制定当時よりすると大巾改定の要があります。全国一斉に同一事項について調査することになりました。

当市も各農業委員を中心とした調査班及調査員の人選も終り、調査技術の修得もすみ、近日中に調査開始の運ひとなりました。

調査実施については事前に御連絡申上げますが、各農業委員組合長、地主、耕作者各位の御協力を切にお願い致します。

農地改廃防止法制定か

自作農創設特別措置法によつて自作農が創設されましたところが、昭和二十七年農地法が制定され、農地の転用所有権の移転が、知事の許可により可能となつたので、最近に於て本申請が非常に多くなりました。

全国の農地は三万町歩と云われて居ります。この外、許可外農地も相当あると予想され、食糧自給の大きな障害となつて居ります。

農林省が本法案の提出を急いで居るのも、農地法を補強し、農地を最少限に規制して行くと云うのがねらいの様です。

農業経営の窮状を再検討して、経済的な苦しみのため農地を食いものにしない様に、打開の途をお互に考えましょう。

なお当日は、市賞寒集積集発表会も行います。

柏市表彰規則

このたび、柏市表彰規則が制定され、並に表彰

表彰、奉行者として他の、べき人たちを表彰することになりました。

御互に街を明るく、住みよくするために、普段から奉行を心掛けると共に、これら埋れたる人々を発見するように致しましょう。

人事

○収入役　井戸弘　昭和二十九年十二月十七日付

○福祉事務所長　斎藤吉水　昭和二十九年十二月十五日付

○固定資産評価審査委員会委員

柏市柏　染谷忠次
柏市豊四季　有岡綜之助
柏市山高野　寺島薫
柏市布施　後藤七郎兵衛
柏市廣心　早川辰夫男

昭和二十九年十二月十七日付

○柏市国民健康保険運営協議会委員

被保険者代表委員

柏市篠籠田　増田保
柏市篠籠田　大内信治
柏市松ヶ崎　根本春一
柏市花野井　松丸忠一
柏市中十余二　神崎孫助
柏市大青田　寺島信一

医師代表委員

柏市豊四季　太橋誠
柏市豊四季　染谷伝三郎
柏市小青田　古谷博
柏市豊四季　板本趙
柏市柏　鈴木伊大郎

公益代表委員

柏市柏　中島保
柏市戸張　浜島手代丸
柏市柏　高野山高次
柏市大宝　寺田正俊
柏市新戸　相田亀次郎
柏市十余二　石戸谷五郎

昭和二十九年十二月十七日付

写真説明　去る十二月十五日の市営上水道起工式の状況で事業費総額九千七百万円を要し第一水源地を国鉄柏駅の電々公舎共済組合分譲地に求め、この着工により、衛星都市柏の詩情を強く高かしめたものである。

昭和30年1月15日発行　柏市広報

柏市章發表

一等　今村邦男
二等　小笠原弓江
三等　小針修

去十一月二十一日、市制施行記念表彰された市章は、市内広く募集した処、応募総数百六通に達し、更に市外より応募者があり、厳選の結果柏市立柏中学校図工教師今村邦男氏が一等に当選した。

審査員は市長鈴木悦三、議長小川喜助、教育長寺村統二、学識者関口誠、美術家神野義衛、東葛高校図工教師海老原弘二、建築技師木村正一の各氏であった。

▽市章説明△ひらがなの『か』『し』『わ』を組合せたもので全国の市章にも類を見ない清新発剌、事厚味のあるもので、各審査員の激賞を買っている。

▽市章入選者氏名△
一等　今村　邦男
二等　小笠原弓江
三等　小針　修
佳作　小沢博、河瀬忠雄、小笠原恒子、貫名正定、田中栄子、寺田孝、田中房次郎、仲満智。

なお、賞品授与式は来る十五日の成人式の当日行われ、終了後各審査員を混え座談会を行うことになる。

教育委員會だより

町村合併の実も結んでめでたく柏市が生れました。良の皆さんと共に心から嬉しく存じます。合併のよい処も段々と現われてくる事でしょう。

即ち学校教育の施設の面、又社会教育の事業の部門等に、それぞれ新生命をもって清新の意気に満ちた教育の充実がみられる事です。教育委員会関係の事柄の一端を皆さんに御知らせいたしましょう。

委員の決定

町村合併の法律に従って旧四町村公選教育委員十六名の中から、次の四名の方がえらばれました。議会の側から二名出て五名の委員会ができました。

増田陸治委員、鈴木宇宙委員、芳野よしい委員、日暮長市委員（以上公選）

なお議会選出委員（議会選出）

議長　荻崎　亘委員

なお委員長に荻崎、副委員長に増田の二委員が選任されました。申すまでもなく、教育委員会は民主主義の本義に基き、住民の総意により、地方自治の本旨に則り、公正な地域の教育の運営にあたる合議制の執行機関であります。

皆々皆さんの為の教育に渾身の努力を尽す覚悟でございます。今後の皆様の御協力を御願します。―地域の教育は住民の手で―

事務局について

教育委員会の事務を行うために、教育委員会事務局が市役所内にあります。次の組織で次の事務を受持っております。皆様の事務局です。御用の節は気がるにおいで下さい。

教育長（寺村統二）
◇庶務課（課長、教育長兼任）
委員会関係法規、文書、人事、給与、予算、調査、統計、渉外
◇学校教育課（課長伊藤富雄）
学籍、学区学級編成、学校管理、教職員人事、給与、教科書、営繕、学校衛生
◇社会教育課（課長戸部敏一）
社会教育委員、公民館審議会、図書館、公民館、社会教育計画、青少年教育、成人教育、諸団体指導助言、資料、PTA、文化財

以上が事務局の構成と事務の大要です。十二分の御利用を希望します。

学校関係事項

柏市立第二中学校八教室の新築工事は、十一月二十五日に入札が終り、十二月三日地鎮祭が行われました。一月四日半ばまでに落成予定です。寒空に向う折から各学校の窓ガラスの修繕を終りました。

田中小学校廊下の光線不足の教室に、蛍光燈をつけました。明るくて大変喜ばれております。

富勢小学校に新に電話が設けられました。

土小学校に農業実習室を新設し、モーターその他の設備を入れた。

土小学校の電灯工事促進について関係方面に陳情した。

なお富勢中学校の便所新設をはじめ、各校に自転車置場を設置するよう計画しています。冬の休暇中に完成の予定で頑張っています。

各小中学校に教材の充実をはかり、合計五〇万円程度購入するはこびになっています。

社会教育委員会

委員二十五名がえらばれまして発足いたしております。十二月十四日に柏一小で会合をいたしました。

公民館運営審議會

市内に次の四公民館があります
田中公民館（大室）
富勢公民館（布施、旧役場）
柏公民館（中町）（図書館併設）
大公民館（増尾、旧役場）
以上の四館が夫々の地区の中心となって、社会教育の核心として運営されています。その公民館の運営の相談役として公民館運営審議会が、夫々の館に設置され、各十名の委員が委嘱されました。今後の活動を期待いたします。夫々の会の会合が十二月にもたれました。

青年学級

本年の社会教育の第一回の目標は、青少年教育に置き、その実現のため青年学級を開きました。各方面から大変喜んでいただいています。最近では田中地区が十二月十一日に田中公民館にて開講されました。逐次部落会場の講座が持たれます。

富勢地区は十二月中に料理講座を開き、明年一月からは青年学級を開設いたします。

目下柏地区では柏公民館と豊町公民館で開講しています。まだ人員の余裕があります。どしどし御参加を希望します。

土地区では、十第二学級（渡井、藤心）、十第三学級（酒井根、中新宿南増尾）が開講中で近く十第一学級（増尾、名戸谷）が開かれます。

以上の青年学級は、誰でも年にかまわず中卒以上の青年諸君の御いでを待っています。地域の実状に応じ、学級生の自主的活動を充分尊重し、農業、家事及び一般教養の面について指導いたします。御自身は勿論、御父兄各位の御理解の下に、どしどし来講して下さい。皆さんの御いでを心から歓迎します。

社会調査

社会教育の基礎として、地域の実状をよく調べたいので、一月から二月にかけて市内都市部一カ所、農村部二カ所をえらんで社会調査を行います。調査員が伺いますからその節何分御協力下さい。この調査は絶対に秘ぶ[illegible]には関係ありませんから、その点は御心配なく十分に実状を御話し下さい。なお知られて困る事は決してもらしませんから御安心下さい。

最後に、次の事を御願い致します。

四月入学生通知

二十九年十二月一日現在の調べで、来年小学校一年生になる方については、二月半ばまでにできて保護者に御通知いたします。十二月一日以後市内に入ってきた方や、住所が変った方はすぐ事務局学務係まで御申出下さい。又万一郵便がつかないような場合も同様に願います。

中学校入学通知は三月中旬に生徒本人に御渡します。

納税だより!!

償却資産の申告は一月末日迄で既に配布いたしてあります用紙で、期限内申告をお願いいたします。

市民税の申告は二日末日迄で申告用紙は二月上旬皆様のお手許に配布いたしますので、なるべく早目に申告を!!

納税組合を作りましょう

【孫】ねえお祖父さん、供米も完納したし、税金も収めたし、全く穏かな正月でしたねえ。今年も大いに張切ってやりましょう。

【祖父】全くよいお正月だね。長生きはしたいものだよ。近頃は働く者の天下になって来たわ今みたような、デフレの経済の落着いた時は、わしの経験によると貯蓄が一番だよ。

【孫】そう貯蓄といえば、最近市役所が納税組合の結成を奨励汁よ。

【祖父】この間寄合に行ったら市内でも各地区で結成して非常に成績がよいっているとか。

【孫】これに加入すると、知らず知らずの内に納税出来るし、完納すると割戻しもあるし、色々互助的な制度にも利用されているとのことですよ。

【祖父】それではこの部落でも模範的なやつを作るかな。

近く柏市に育英資金制度が実施される

去る十二月十八日の定例議会において、議員さんの賛成により、柏市百年の基礎を育成するために、育英資金制度を提唱され、満場一致これが実施に賛成を得ましたので、近く運営委員会を設け、これを具体的に検討し、公布することになりました。

【孫】これが実施されますと、学資貸出等により進学出来ない多くの向学心に燃ゆる子弟に、一大福音となることでしょう。

市民税四期分納期限は一月三十一日です

自転車荷車に新しい鑑札を

柏市が誕生致しまして、何々その看板である鑑札もスマートなものに改め、大体一月下旬につけかえますので御知らせ致します。

もし無鑑札の人がありましたならば、ぜひこれを機会に交付を受けて頂きます。

近々一斉鑑札検査も行いますので必ず自転車、荷車税等の納付を御願い致します。

新有權者としての自覚

応募論文から

正しい選挙を行うためには、その前提条件として、国民又は住民の良識という根本的問題が横たわっているといってよいのではなかろうか。この良識が向上しないかぎり、どんなに選挙違反を非難しても、公明選挙を唱えても、選挙は立派に行われ難いと思われる。良識のない代表者が選ばれることは、根本的にいえば、選ぶ人々に良識がないと言えよう。

しずく!!

イギリスは近代議会政治の始祖でもあり、いう民主々義なかなかうまく地方自治の根が確立した国でもある。

故にイギリス人は、最も政治的関心の高いかつ文化性の強い国民である。

この論理は『前後因果関係の認識』である。

即ち住民の一人々々が教養あり、かつ地方自治に関心をもち、真の民主々義者であればこそ、新様な議会に価する議員ができ上ったのである。

市役所紹介（2）

▽選挙係△なんといっても、選挙係で最も住民の関心の的となっており、且つ苦情の多い処は選挙係でありましょう。

十二月二十日現在の基本名簿によりますと、有権者総数三三、五八〇人で、内男一一、五三八名、女二二、〇四二名となっていて婦人が五〇四人も多くなって居ります。

御存知のように、来月又は三月初旬に総選挙が行われることになり毎日の新聞紙上で[illegible]選挙其の他に[illegible]

柏市教育委員会

委員長　荻崎　亘　委員　芳野よしい
副委員長　増田陸治　委員　日暮長市
委員　鈴木宇宙　教育長　寺村統二

柏市議會議員

議長小川喜助　副議長　山中貞良

抽せん番号順

横尾　黎翠　池田吉五郎　鈴木　堯治　山沢源太郎
袴田　茂作　成島　治三　松崎良太郎　平川新次郎
田中　貞雄　寺田　正俊　小田山俊文男　丹羽丑太郎
金子　操　網　正雄　藤井　物司　山野辺敬茂
岩出　泰　鈴木多之助　日暮　宗司　金子　馨
相田　栄保　増田　忠信　伊藤　鎌吉
荻崎亘之助　小林貞之助　浜島誠一郎
中島　保　相田角次郎　増田　静　田中徳左衛門
大関　勝　伊藤喜五郎　染谷文次郎　今井善之助
寺田　与雄　関口　誠　橋本　三郎　寺田　喜市
桑根　正三　大木惠喜蔵　菅　順之助　初沢乙治郎
後藤源治郎　砂川　貫一　高野山喜次　石戸谷五郎
小岡　武一　浜島千代丸　染谷与太郎　長澤　勇
直井　要　金子　義衛　石戸　誠一　松丸　勘次
中村　宝　中村　選二　日暮　市郎　中村　薫
野口　庄吉　松崎　一雄　増田又一郎　日暮東之助
木村竹衛　荻崎　亘　長本　中松　小溝　浅一
小川　雄市　伊藤　正夫　成島良太郎　豊島　豊
吉田　喜治